

平成 29 年度 学校経営計画書

学校番号	80	学校名	浜松商業高校	校長名	中澤秀紀
------	----	-----	--------	-----	------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

本校は、「誠実・勤勉・敬愛」の校訓のもと、授業、部活動、学校行事を通して、知徳体のバランスに配慮しつつ、生徒個々の持つ特性を最大限に伸ばし、その多様な特性を学校の活力とすることを目指す学校である。その教育理念は以下のとおりである。

「我々浜商職員は、人を大切にします。学び続けます。地域に貢献します。」という浜商職員三訓を力強く実践することにより、学ぶこと働くことを尊び、人を大切にする態度と高い志を持ち、生涯にわたって学び続けることのできる生徒の育成を目指す。そして、生徒の主体的・自発的な態度と行動を尊重し、専門的職業人、自立した主権者、より良い社会の形成者として、地域社会に貢献しようとする態度と価値観を醸成する。

(2) 目標具現化の柱

教育目標を具現化するために、「安全・安心な学校づくり」を力強く実行する。

ア 地震、火災、台風等の災害への対応の仕方を身に付けさせる。

イ 卒業後、更に大きく成長できるよう、学力向上を図るとともに、主体的な学習態度を身に付けさせる。

ウ 人の命の大切さや、健康の有り難さを知ることにより、交通ルールの重要性を学ぶ。

エ 他人を大切に出来る心が育つよう、学校全体を常に穏やかな状態にする。

オ 生徒の多様な進路に対応できる体制を整備し、個に応じた進路指導の充実を目指し、進路実現に対する安心感を抱かせる。

カ コミュニケーション能力を高め、互いに尊重・信頼できる人間関係を育む。

キ 生徒が抱える多様な問題に対応できるように、相談しやすい環境を整え、早期に情報共有し、チーム支援を図る。

ク 豊かな人格形成のために、知識や教養を身に付けさせる。

ケ 人を大切にする「人権教育」を土台として、研修を充実させ、職員の資質向上を図る。

コ 校内の情報を安全に管理できる環境を整備するとともに、効果的に発信する。

サ 生徒が安心して学習できる環境の整備を図る。

シ 商業科

(1年次：基礎基本)地域に貢献できる人材を育成するために、商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させるとともに、商道德を基本としたマナー意識の醸成を図る。

(2年次：挑戦)地域に貢献できる人材を育成するために、高い目標を掲げ、それに向かって主体的に挑戦する姿勢を育てる。

(3年次：深化と実践)地域に貢献できる人材を育成するために、専門知識と技術の深化、総合化を図るとともに、社会の即戦力となる創造的・実践的な力を身に付けさせる。

ス 学年

(1年) 【守】社会で通用する人材の育成をするために、基本的な生活習慣を確立させる指導を重点的に行い、当たり前の事を当たり前出来る思考、行動を身に付けさせる。

(2年) 【破】社会で通用する人材の育成をするために、自分自身の可能性を切り拓く様々な挑戦をさせ、本校の中心の学年としてふさわしい行動力、人間力を身に付けさせる。

(3年) 【離】社会で通用する人材の育成をするために、自分自身の将来像に近づくための粘り強い努力をさせ、浜商生としてふさわしい主体的に行動する態度を身に付けさせる。また、伝統を意識させ、次世代への引継ぎをスムーズに行う。

様式第1号

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	地震、火災、台風等の災害への対応の仕方を身に付けさせる。	避難訓練事業を年3回実施し、地区別避難方法・地震決壊情報への対応方法・災害知識講座・突発的の火災発生避難を実施する。	・地域ごとの集団避難の仕方を理解する。 ・短時間での避難・点呼の完了。	総務課
イ	卒業後、更に大きく成長できるように、学力向上を図るとともに、主体的な学習態度を身に付けさせる。	学習習慣の定着を図るとともに、生徒に考えさせる授業を推進する。	授業に主体的に取り組み、そこから充実感が得られる生徒を育てる。	教務課
ウ	人の命の大切さや、健康の有り難さを知ることにより、交通ルールの重要性を学ぶ。	いのちのメッセージを設置し、命の尊さを実感させる。	自転車交通安全指導件数を前年度より減少させる。	生徒課
エ	他人を大切に出来る心が育つよう、学校全体を常に穏やかな状態にする。	浜商式指導方法を浸透させ、教員と生徒、教員同士、生徒同士の信頼関係を高める。	生徒の人間関係に係る問題行動「0」を目指す。	生徒課
オ	生徒の多様な進路に対応できる体制を整備し、個に応じた進路指導の充実を目指し、進路実現に対する安心感を抱かせる。	進路指導室の常駐スタッフを増員し、生徒や保護者、教職員への相談体制や積極的な情報提供を行う体制づくりをする。	・就職希望者全員が内定を獲得できるようにサポートする。 ・進学希望者の進学先決定をサポートする。	進路課
カ	コミュニケーション能力を高め、互いに尊重・信頼できる人間関係を育む。	「構成的グループエンカウンター(SGE)」などを活用し、生徒・教師・保護者との良好な人間関係の構築を図る。	教師、生徒ともに人間関係づくりのスキルを理解・習得することで、今までよりも円滑な人間関係を築き、安心して学校生活が送れるようにする。	保健課
キ	生徒が抱える多様な問題に対応できるように、相談しやすい環境を整え、早期に情報共有し、チーム支援を図る	教育相談室の利用を「相談室だより」等で促す。教育相談担当者が集まる機会を月1回設け、情報共有・チーム支援につなげる。	「相談室だより」の月1回の発行。特別支援も含めて、問題を抱えた生徒に関するケース会議を早期に開催する。	教育相談室
ク	豊かな人格形成のために、知識や教養を身に付けさせる。	広報・指導・調査を通して読書習慣の定着を図り、文字・活字情報の活用を徹底する。	不読者をゼロに近づける。図書館の授業利用の促進を図る。	図書課
ケ	人を大切にする「人権教育」を土台として、研修を充実させ、職員の資質向上を図る。	「安心・安全の日」等を年に数回設け、全ての職員が全ての授業で人権、安心・安全等に関する話をし、職員も生徒も人権感覚高揚の定着を図る。また、本校で課題となっている研修テーマを設定し、校内研修会参加を徹底する。	人権感覚を高めることによって自尊感情を育て、見抜く技術、行動する態度を身に付けるようにする。また生徒が「大切にされている」という実感が得られるようにする。	研修課

様式第 1 号

コ	<p>校内の情報を安全に管理できる環境を整備するとともに、効果的に発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校 Web ページを活用し、校内の様子を外部に発信する。 ・緊急用メールの利用範囲を拡大するためのマニュアルを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に 2 回以上の Web の更新を行う。 ・緊急用メールの利用マニュアルの作成メール登録の徹底を図る。 	<p>情報管理室</p>
サ	<p>生徒が安心して学習できる環境の整備を図る</p>	<p>危険個所、異常個所の早期発見、早期改善のため、施設の安全点検を定期的の実施する。</p>	<p>学校施設等における生徒・職員の事故及び隣接地への被害ゼロの達成を目指す。</p>	<p>事務部</p>